

LesPros entertainment ウズイチインターンシップ エントリーシート課題

エントリーシートの課題は4ページ目に記載されております。

エントリーシートの課題を考えるにあたって、下記の情報をご参考ください。

浅草九劇とは？

浅草九劇は、人と情熱とエンタインメントが渦巻く劇場として、
2017年3月にオープンしました。

100席ほどの小さい劇場ですが、オープンから色々な方にご使用いただき、
エンタメの聖地“浅草”の新しいエンタメスポットとして認知を広げています。

自己承認欲求が、なにかとバカにされがちな世の中ですが、
浅草九劇は「何かを創り、発表し、他の人に認められること」を全力で支援しています。

そんな人が身近に感じることのできる劇場、
そんな人が自由に活動できる劇場、
そんな人が多くの人に認められる劇場を、
浅草九劇は目指しています。

未来のエンタメ業界を賑やかにする才能が生まれることが、浅草九劇の願いです。

2019年からは「浅草九劇賞」「浅草九倶楽部サポーターズ うずまきの会」
を開始するなど、ただの劇場運営にとどまらない施策を展開しています。

同じ建物内には、“WIRED HOTEL”（ホテル施設）、“WIRED CHAYA”（飲食施設）が
併設されており、建物の隣には、“浅草九スタ”という動画配信スタジオがあります。



浅草九劇



WIRED
CHAYA

茶屋



浅草軽演劇集団ウズイチとは？

浅草軽演劇集団ウズイチは、レプロエンタテインメント初の男性演劇ユニットで、UZMKプロデュース（[註1](#)）第2弾として産声をあげました。

弊社が運営する劇場「浅草九劇」を拠点に、年3回の公演と配信番組の出演を重ねながら、自らのパフォーマンスを磨き上げています。

「軽演劇」とは、風刺を含んだ軽快で滑稽な大衆演劇を指し、娯楽性を重視した演劇作品のことです。

誕生したのは昭和初期、1930年頃の東京・浅草。

浅草六区の公演で成功を収めた「浅草オペラ」から、数々のスターが輩出されました。

今なお娯楽の聖地である浅草で、

「ウズイチ」は誰もが気軽に楽しめる総合エンタテインメントを発信しています。

芝居は勿論、ダンス、歌、お笑い、時にアドリブ要素も交え、

客席をも巻き込んだパフォーマンスを繰り広げています。

公式HPはこちらになります。

<https://asakusa-kokono.com/independent/uzuichi/>

註1：「エンタテインメントを育む」ために、俳優、モデル、アーティストなど、ありとあらゆるフィールドを巻き込み、観客をも巻き込むエンタテインメントをプロデュースするプロジェクト。



ウズイチ

浅草軽演劇集団
ウズイチ

これまでのウズイチの活動

ウズイチは、『シャフ』という作品で2018年に3回の公演を行ないました。

車夫（シャフ）とは、人力車を引く仕事をされている方々のことで、
浅草では街の中に溶け込んでいます。

“車夫”を題材とした『シャフ』は、毎回出演メンバーを入れ替え（註2）、
常に新しいスターが輝ける作品としてのエンタメコンテンツです。

演技あり、ダンスあり、歌唱あり、笑いあり涙ありの、総合エンタテインメントです。

また、公演だけではなく、浅草九スタでのWEB番組配信も行なっています。

公演だけでは見ることのできない、メンバーの素顔、
公演の裏側などを楽しんでいただけるような番組となっています。

註2：毎回オーディションやスカウトを実施し、
選りすぐりのメンバーで公演を行なっています。

これからのウズイチの活動

2019年3月末に第4回公演を予定しております。

第4期新メンバー募集も行ないます。

公式Twitter (@lespros_uzuichi) のフォロワーが1,000人を超えたので、
イベントを実施する予定です。



ウズイチの課題

現状のウズイチの課題は、「認知度の拡大＝動員数のアップ」です。

プロジェクトのスタートから1年が経ち、幸いなことに、
多くのお客様に見ていただくことができました。

2019年はウズイチをより飛躍させるために、
より広範囲な方々への認知拡大を目指しています。

目標は、1回の公演での動員数“2,000人”です。

エントリーシート of 課題

これまでのご紹介を踏まえた上で、

ウズイチの課題達成のためのアイデアをご記入ください。

ウズイチは「舞台」という形で公演をしていますが、
それにこだわったアイデアでなくても結構です。

ウズイチというユニットを、より多くのお客様に知っていただくために、
どんな施策をしていけばよいか、学生の皆様の経験と知識を基に自由にご記入ください。

形式はどんな形でも問題ございません。

作品内容、PR、販促、出演者など、どんな視点からのアイデアでも結構です。

皆様からのご応募お待ちしております！

